



水上 務 議員



録画映像

質問1 上磯高校に福祉科設置の運動を道教委に働き掛けるべき

教育長 道内の福祉学科がある2校の入学者が減少、維持が厳しい

問 道立上磯高校は現在、普通科の1間口です。

そこで、新たに福祉科を設置する運動を道教育委員会に働き掛けるべきと考えますが、お伺いします。

答(教育長) 上磯高校については、今年で創立70周年を迎える伝統ある学校です。

ピーク時の昭和55年度には、普通科5間口、生活文化科1間口、合わせて6間口と、渡島管内においても、中堅規模の学校でしたが、その後は、少子化の影響から年々入学者数が減少し、現在は普通科1間口という規模です。

一方、平成29年度に、同校に北斗高等支援学校が併設されたことから、現在は特に、高等支援学校や地域との連携に力を入れており、共生社会の一員として他者と協働できる生徒の育成にも取り組まれています。

ご質問にあります、上磯高校への福祉科の設置については、現在、道内に福祉学科を有する学校は、道立置戸高校と私



創立70周年を迎える道立上磯高校

立函館大妻高校の2校があり、現在、両校ともに入学者が減少し、その維持が厳しいものとなっていると伺っており、理由の一つは、初めから福祉関係を志望する生徒は少なく、普通科の高校を卒業した上で、福祉関係の専門学校に進学し、資格を取得する生徒が多い傾向にあるためではないかとのことです。

現在、上磯高校としては、多様な進路に対応できる生徒の育成を主体に考え、現行の普通科1間口の確保に尽力するとともに、最大の強みである北斗高等支援学校との連携を生かし、選択科目として福祉を学べる体制を整えるなど、進路の選択肢を拡げる取り組みも検討しているところです。

市や教育委員会としては、今後も上磯高校のインターンシップの受け入れや市

内小・中学校との情報交流の場の設定など、できる限りの支援を行い、市内の多くの子どもたちが、上磯高校への進学を希望するような魅力ある学校づくりに協力してまいりたい。

質問2 新築・リフォーム後に住居番号表示板を設置すべきでは

市長 市民等へ表示する利点を説明して協力を促してまいりたい

問 近年、市内の住宅の新築及びリフォームをすると、ほとんど住居番号表示板がありません。

市として住居番号表示板を設置すべきと思いますが、その考えについてお伺いします。

答(市長) 住居表示については、「住居表示に関する法律」に基づき実施される、地番を基にした住所の表示に代わる、一定の方式により順序よく付けた番号を基にした住所の表示方法ですが、本市においても、上磯地区では昭和54年度、大野地区では平成20年度からそれぞれ開始しています。

また、住居表示にとって重要である、住居番号表示板の設置については、「住居表示に関する法律」及び「北斗市住居表示に関する条例」に基づき、建物所有者や占有者が見やすい場所に表示することにより、消防や警察による緊急時対応の迅速化、郵便物など宅配業務の誤配や

遅配の減少、訪問時の利便性向上などが図られることを目的としています。

本市においては、住宅を新築又はリフォームした際や、住居番号表示板が劣化してきた場合に、申請により、住居番号表示板を無償発行しており、その際、表示箇所や再発行に関する周知文書を一緒に配布しています。

しかしながら、ご指摘のとおり、最近では住居番号表示板の見当たらない住宅が多く見られます。

市としても、その状況は認識しており、住居番号表示板の設置目的や無償で再発行が可能であることなどについて、市民への周知に努めていく必要があると考えています。

今後は、ホームページや広報、町会連合会の会議などを活用し、周知を強化するとともに、窓口にて住居番号表示板を住宅所有者やハウスメーカーなどに渡す際、今以上に住居番号表示板を住宅の見えやすい場所に表示する利点を説明し、市民の協力を促してまいりたい。



住居番号表示板を設置している住宅